

# リテール&プリンティング

## Retail and Documentation Solutions

---

POS（販売時点情報管理）システムやMFP（複合機）などを展開する上で獲得した、独自技術とフィジカルアセットの最大限活用や、顧客・開発パートナーとの共創により、変動する社会環境に合わせた利便性・快適性を提供する製品・サービスを開発しています。

## ■ 処理能力を向上させたコンパクトなPOSターミナルWILLPOSシリーズ



コンパクトなPOSターミナルWILLPOSシリーズ  
WILLPOS series QT-30 and QT-300 compact POS terminals

専門・飲食店向けに、POS（販売時点情報管理）ターミナル WILLPOSシリーズの新機種を、次のとおり2023年9月にリリースした。

- ・ WILLPOS-Mini QT-300：レシートプリンター一体型POSターミナル
- ・ WILLPOS-Touch QT-30T：縦型タッチPOSターミナル
- ・ WILLPOS-Touch QT-30H：フラット型タッチPOSターミナル

操作の快適性や多様なアプリケーションの利用といった顧客要求に対応するために、CPU・OS（基本ソフトウェア）を刷新し、メインメモリとSSD（ソリッドステートドライブ）の容量を従来機種の2倍にした。一方で、既存顧客のリプレース要求に配慮して、外形寸法や、ファンレス設計、USB（Universal Serial Bus）を含む接続部のレイアウト、操作法などは従来のままとした。

外装は、表示部の枠に銀縁塗装を用いることで、高級感のあるデザインに仕上げた。また、欧州RoHS指令（有害物質使用制限指令、Directive 2011/65/EU）にも準拠した。

東芝テック（株）

## ■ RFIDパッケージソフトウェア RF異物検知・RF簡単棚卸



RFIDハンドリーダ  
UF-3000シリーズ

RFID（無線ICタグ）を用いた自動認識技術を活用し、様々な出荷現場で出荷物への備品混入を防ぐソフトウェア“RF異物検知”、及び製造・物流業における棚卸し業務を効率化するソフトウェア“RF簡単棚卸”を、2023年4月に製品化した。

これらのソフトウェアは、当社製RFIDハンドリーダ専用であり、マスターデータはCSV（Comma-Separated Values）のテキストファイル形式で用意でき、特別なシステム環境は不要である。安価かつスピーディーな導入が可能で、RFIDを初めて導入するユーザーもすぐに効果を実感できる。

出荷現場では、備品が誤って出荷物に同梱（どうこん）されるミスが稀に発生する。RF異物検知は、RFIDタグが付いた備品の同梱状況を出荷物の外から把握することで、開封しなくても備品混入を予防できる。

RF簡単棚卸は、物品に取り付けられたRFIDタグを、箱の外から一括で読み取り、棚卸しに掛かる手間を削減する。アプリケーション画面には、管理番号ごとの実績と作業の進捗率が表示されるため、ユーザーは確認しながら棚卸し業務を進められる。

東芝テック（株）

RF異物検知

管理番号	品名	30 sec	読取停止
1001	ハサミ①		
1002	ハサミ②		

終了

RF簡単棚卸

管理番号	部品名	読取数	理論在庫	読取開始
P0001	メンテナンス部品1	30	50	
P0002	メンテナンス部品2	20	30	未読商品
P0003	メンテナンス部品3	20	30	
T0001	メンテナンス用工具1	0	15	選択
T0002	メンテナンス用工具2	0	15	クリア
		1,200 / 1,500	進捗率 80%	読取終了

### RF異物検知とRF簡単棚卸の表示画面例

RF detection of packing tools left in packed containers and simplified RF inventory taking

## ■ 開発支援ポータルサイト TEC Developers Hub



開発支援ポータルサイト TEC Developers Hub  
TEC Developers Hub development support portal

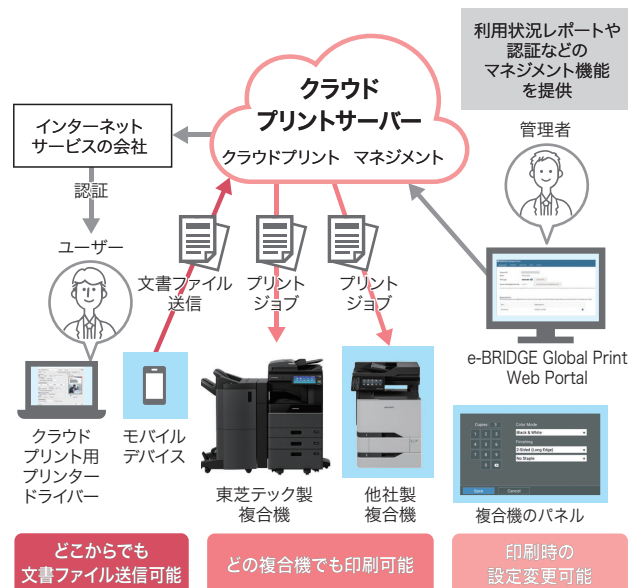
ソリューション開発パートナーとの共創を推進する場として、開発支援ポータルサイト“TEC Developers Hub”を2023年7月に公開した。

流通小売業は、消費者のライフスタイルの変化に伴い、多様なニーズに応えることが求められている。それに対応するため、ソリューション開発パートナーとシームレスな連携を実現し、共創したソリューションを迅速に市場投入して社会課題を解決できるエコシステムの構築が必要である。TEC Developers Hubには、当社サービスと連携するためのAPI (Application Programming Interface) 情報をはじめ、ハードウェアのドライバー情報などの当社アセットを掲載する。また、開発に関わる問い合わせへの対応や、テスト環境の提供なども行う。

TEC Developers Hubの活用により、スピーディーかつ効率的なコミュニケーション、及び知見の共有を実現し、ソリューション開発のスピードアップにつなげる。流通小売業及び消費者の課題解決に向けて、DX (デジタルトランスフォーメーション) をともに推進していく。

東芝テック (株)

## ■ クラウドプリントサービス e-BRIDGE Global Printの機能強化



機能強化部分

e-BRIDGE Global Printの機能強化  
Overview of e-BRIDGE Global Print

当社が提供しているクラウドプリントサービスe-BRIDGE Global Printは、どこからでも簡単に文書ファイルを送信し、インターネットなどで接続したどの複合機でも印刷できることが特徴である。

この度、次のような機能強化を行った。

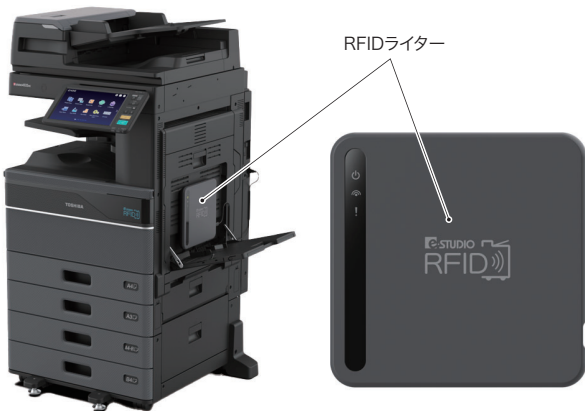
- ・ モバイルデバイス対応：PC (パソコン) だけでなく、モバイルデバイスからも文書ファイルを送信できる。
- ・ パネルでの設定変更：文書ファイル送信時に指定した、印刷部数やカラーモードといった印刷設定を、印刷時に複合機のパネルから変更できる。
- ・ 他社製複合機対応：一部の他社製複合機でも文書を印刷できる。

これにより、多様なデバイスからの文書ファイルの送信や、印刷直前での設定変更など、ユーザーのニーズに合わせて柔軟に対応できるようになった。

今後は、利用状況レポートなど、プリントサービスとして重要なマネジメント機能を改善し、当社の主要顧客層である中小企業へ、更なる普及を進めていく。

東芝テック (株)

## ■ カラー印刷とRFIDへのデータ書き込みが同時にできる複合機 e-STUDIO4525AC RFID



RFIDライター対応 A3カラー複合機 e-STUDIO4525AC RFID  
e-STUDIO4525AC RFID A3 color MFP capable of writing RFID data

小売業や、製造業、物流業などの物品管理や工程管理を効率化するために、離れた場所や箱の中などでも読み取り可能なRFIDの活用が望まれている。

そこで当社は、様々な現場のニーズに合わせた生産性を向上させるソリューションを提供していくため、オフィス分野で培った複合機の技術とRFID技術を融合した業界初<sup>(注)</sup>のRFIDライター対応A3カラー複合機 e-STUDIO4525AC RFIDを開発し、2023年10月に国内向けに商品化した。

e-STUDIO4525AC RFIDは、通常の複合機としての機能に加え、ラベル作成ソフトウェアで作成したラベルデザインのフルカラー印刷とRFIDデータの書き込みを同時に実現できる機能を持つ。また、印刷用紙としては、推奨のRFIDタグ付きA4用紙に加え、用紙サイズやRFIDタグの位置を利用者の要望に合わせたカスタム用紙への印刷も可能である。

バーコードが入った工程表などを、RFIDタグ付きの用紙に印刷することで、既存の設備環境からの移行をスムーズに進められる。

(注) 2023年8月時点、A3複合機として、当社調べ。

東芝テック(株)

## ■ RFID対応可能な小型ラベルプリンター BV410Tシリーズ

### 上位モデル機能の横展開

- ・RFID UHF帯対応(オプション)
- ・無線LAN(5 GHz)、Bluetooth<sup>®</sup> 5.2対応
- ・走行距離通知機能

### 少スペース設計

- ・無駄のないシンプルデザインによる小型化
- ・インターフェースコネクターが筐体(きょうたい)より外に出ないデザイン



背面

### 現行機種との互換性

- ・サプライ互換
- ・現行機の発行モード互換
- ・互換設定ツール
- ・他社プリンター言語エミュレーション搭載



BV410Tシリーズの特長  
BV410T thermal-transfer barcode printer with RFID reader/writer

小型で高速印字可能なラベルプリンター BV410Tシリーズを、2023年11月に提供開始した。ラベルプリンターは、製造業界の品番ラベルや医療現場のリストラベルなど、様々なシーンで活用されており、業務効率化のために、高速化やインターフェースの多様化が求められている。

BV410Tシリーズは、A4サイズ以下の設置面積でありながら、従来機種と比較して最大印字速度を最大で1.4倍にしたほか、使用可能なリボンの長さを250mと2.5倍にしたことで、作業現場の業務効率向上に貢献する。また、多様なインターフェース(標準搭載: USB・有線LAN, オプション: 無線LAN・Bluetooth<sup>®</sup>・シリアルインターフェース)の搭載で、顧客システムへの接続性を向上させた。

更に、普及型として当社で初めてRFID機能にオプション対応しており、ラベル印刷と同時にUHF(Ultra High Frequency)帯RFIDタグ、特にショートピッチタグへの書き込みを可能としたことで、流通店舗でのRFIDタグ再発行などが手軽にできる。

2023年12月に、海外向けモデルBV420Tの提供も開始した。

東芝テック(株)